

吉川区

# 地域協議会だより

(第 50 号) 令和 6 年 7 月発行  
発行 吉川区地域協議会  
編集 たより編集委員会  
事務局 吉川区総合事務所  
総務・地域振興グループ  
TEL 025-548-2311

## 第 6 期吉川区地域協議会がスタートしました

5 期目の協議会委員活動は

会長 山岸晃一 (竹直)



区民の皆様には、日頃から地域協議会活動に、ご理解とご協力を賜り心から感謝申し上げます。

私は 5 期目の委員となります。合併後 20 年間協議会委員として、当区の移り変わりを見てきました。

当区は、急激な人口減少と少子高齢化が進んでおり、公の施設廃止や各種機能の集約が進められています。

そんな中、地域の活性化を図るには、例えば地域のお宝をうまく活用して交流人口の増大を図る事とか、区民自身が郷土に愛着と誇りを持つ起点を沢山創っていく事が重要と考えます。

地域の要望をお聞かせいただき、少しでも改善を図れるよう努めてまいります。

機会あるごとにご意見を頂ければ幸いです。



## 就任挨拶

副会長 薄波和夫 （原之町）



この度、地域協議会委員として任命されたことにつきましては、真に重責を認識しているところであり、今期で4期目となる今、心新たに責を全うすべく、地域のために議論提言を進めて参る所存であります。

地域協議会は、地域自治法に基づき設置された諮問機関であります。地域の様々な課題を自主的に審議し、地域のための課題解決策を見出す役割を担う、地域にとり大変重要な組織でもあります。

この地を築き育ててくださった皆さんや、これからを担ってくださる皆さん、様々な地域、様々な世代の皆さんと膝を交え、耳を傾け、声を交わし、この地の将来に向けより身近な地域協議会となるよう、努めて参りたいと考えております。

これからの地域づくりは、与えられるものでもなく、待っているだけでもなく、地域が自ら考え、地域が自ら築く、それこそがこれからの地域づくりの要であり、地域協議会は、その一翼を担う議論の場としてお役に立ちたいと考えております。

## 活気ある吉川区に

上野達也 （田尻）



この度、令和6年4月から4年間、吉川区地域協議会に務めさせていただきます。旭地区の上野達也でございます。

私は、吉川に生まれ育ち48年が経ちました。以前に比べ少子高齢化になりつつ吉川区内の人口も減ってきています。そこで、若い人たちが集まってくれるように住民のみなさんからいろんな意見をいただき活気のある吉川区にして参りたいと考えていますので、みなさんよろしくお願い致します。

## 地域協議会委員になって

太田和広 （米山）



この春から地域協議会の委員を務めさせて頂くことになりました。65才という年齢になった今、若い頃は全く気にしなかった問題がぼんやり見えて来たような気がします。「田舎だしなあ、遊ぶ所もねえしなあ、若い人もいねえし」そんな少し元気のない地域を少しでも楽しく「高齢者ばっかでもいいじゃないか。そこに住む人が幸せと思えれば」そんな地域になればと思っています。名案はありませんが4年間与えられた期間の中で協議会の方々、地域の皆さんから指導をいただきながら少しでも地域のために役に立てればと思っていますのでよろしくお願いします。

## 地域協議会委員になって

大滝健彦 （下小沢）



地域の推薦もあり4期目もお世話になる事になりました。大半が新しい委員さんに変わり、これからのまた新たな取り組み等に期待しつつ私も地域の為、ちから不足では有りますが、頑張っていきたいと思えます。前期の委員様方の意志を継ぐと共にまた新しい事等にも委員の皆様と協議し活動をして行きます。どうぞよろしくお願いいたします。

## 自然との共存の中で

斉藤崇人 （道之下）



私は生まれ育った吉川が大好きです。しかし若い時はそれほど魅力がある所とは考えた事はありませんでした。ただ今は違います。この何もない所が逆にいいのです。都会の喧騒とは逆の大自然の中でゆったり過ごす。又は訪れた人が休暇をゆっくり過ごす事ができれば最高だと考えます。しかし、ここ吉川で日々農地と奮闘し環境を守りながら暮らしをしている人がほとんどだという中で、守るという事がどれほど大変かという事も含め日々思う所であります。これから委員を努めさせていただきますが、まず地域の方の意見をしっかりと聞き、そしてこの自然あふれる吉川がいいな、住みたいなと若い人たちに思ってもらえるように、微力ではありますが精一杯努めさせていただきますので、よろしくお願いいたします。

## 6期目の吉川区地域協議会委員に応募して

関澤義男 （大乘寺）



上越市は平成の大合併から20年が経過しました。今年で6期目が発足ですが今日もまだ認知度は低く、その存在すら理解されていないのが現実です。又地域活動支援事業から、地域独自の予算に大きく方向転換しましたが資金力のない団体など広く市民に受け入れられるか非常に難しいと感じます。今期からは地域活動支援事業の審査及び採択の作業がなくなり地域の自主的審議事項や山積する課題に取り組む為の勉強会、視察研修、地域活動ボランティアに積極的に参加し協議会委員の役割を果たせればと思います。今の吉川区の課題は少子高齢化、人口減少、人口流出、地域の衰退消滅ですが残念ですがこの流れに抗う事は不可能です。協議会は市長の諮問機関であり毎月協議会を開き吉川区の難課題を論議しています。総合事務所、協議会、団体組織、区民この四者が連携し共生する事が必要で少しでも協議会の認知度を上げて行く事が重要です。今春吉川区にも幸運を運ぶ鳥、国の特別天然記念物「鶴（こうのとり）」のひな4羽の誕生です。おめでたい事です。

## 今だからできることを

田中久美子 （原之町）



17年前に上越市に移住し、子どもが生まれ手狭になったアパートからの新居探しで辿り着いたのが吉川でした。ご近所さまにも恵まれ、自然豊かな環境にも恵まれ、子どもや太鼓を通じ出会いも沢山あり、吉川での暮らしは10年目になりました。良いばかりと思っていたここでの暮らしも、子どもが大きくなるにつれ、不自由なこと、不利や不便に感じる事ができました。かつてお世話になった助産師さんが「子育て中の困りごとは、目まぐるしく変化する日常に当事者が追い付かずなかなか解決できない」と嘆いていたのが頭から離れずにいました。これまでの生活の中でそれを実感することが度々あった事もあり、当事者の立場で出来るのではと考え、地域協議委員会に入らせていただきました。地域の大人たちに見守られ助け合いながら、子ども達がのびのびと育ち暮らし続けていけるまちであって欲しいと願っています。どうぞよろしくお願いいたします。

## ご挨拶



田邊良子（山直海）

この度、地域協議会委員を務めさせていただく事になりました。初めての事でどんな風にお役に立てるかわかりませんが、地域の事を良く知り幅広い世代の方が暮らしやすくなるよう、皆様のご意見をお聞きしながらより良い吉川区になるよう取り組んでみたいと考えております。地域の皆様や委員の皆様にご指導いただきながら、頑張っ  
て行きたいと思います。どうぞよろしくお願い致します。

## 地域協議会の取り組みとは

新部嘉夫（長峰）



この度、新たに吉川区地域協議会委員になりました。地域協議会の活動内容やその役割について、あまり知りませんでしたが、地域の日常生活の中での困り事や意見等を市長へ伝えるための機関として重要な役割があるものと思いました。

吉川区だけではなく、急激な過疎化の進行、少子高齢化が進む中で、区内の子供の人数が減少し、高齢者人口も減少しており、生活に最低限必要なインフラ設備の維持と困難な時代になるのではと心配になります。

そのような現状の中で、この地域に住んでいる住民の人々が将来にわたり、安心して楽しく暮らしていけるように、今何をすべきかを、いっしょに考えて活動したいと思いますので、みなさんの意見や要望をお聞かせください。よろしくお願い申し上げます。

## まずは参加することから



橋爪隆之（天林寺）

平成17年の合併を機に、それぞれの地区の特性を活かした「まちづくり」のため、「地域自治区」が設置され、各区に地域協議会が設けられた。

特性を活かしたまちづくりとは何か？当区での特性は何か？

人口減少の中で何ができるか、何が適正なのか、各組織・団体の各種イベントにまずは自ら参加することから始めたい。

## 1年生



武藤 正（泉）

今年度より地区の推薦もあり、地域協議会委員を務めさせていただきます泉の武藤です。考えてみれば人生の半分くらいを直江津方面で過ごし、吉川へは朝・夕食と睡眠だけの為に帰っていた様な気がします。先日第1回目の会議に出席させて頂き、活動内容についてはぼんやりと理解できた気もしますが、右も左も分からない1年生でございます。先輩方の足を引っ張らぬ様に、かと言って自分の意見は遠慮せずに発言し、少しでも吉川区発展のお役に立てればと思います。どうぞ皆様からのご指導をお願いいたします。



## 【編集後記】

第6期吉川区地域協議会がスタートしました。新たに8名の委員を迎え委員12名全員で協力し、吉川区の課題解決や地域の活性化に取り組んでまいります。皆様のご協力をよろしくお願い致します。

第50号たより編集委員 上野 達也、太田 和広、大滝 健彦